

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	YMCAひかりの子	公表日 2026年 1月 27日			
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	利用人数や子どもの状態に応じて、活動内容やグループ分けを工夫し、職員間の役割分担を行っている。	子どもの状況に応じて、より丁寧な聞きが必要となる場合もあるため、職員配置や支援方法について継続的に検討し、改善を図っていく。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	カームダウンや個別対応、宿題等で静かに過ごせる部屋を用途に応じて使い分け、安心して過ごせる環境づくりを行っている。	階段を上って来所する必要があるため、安全を守るために声掛けや見守り、支援が必要。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	清掃専門の職員を新たに配置した。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1		全職員がPDCAサイクルに関われるような進め方の検討が必要。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		保護者の意向をより頻繁に把握するため、アンケート等の実施が必要。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	日々のミーティング記録を共有し、全職員が好きな時に追記できるようにしている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		第三者による評価の仕組みを作る。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1		保護者との相談や情報共有を大切にした家族支援を行うとともに、進級・進学等の移行期には関係機関と連携しながら円滑な移行を支援していく。

適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	毎日のミーティングに加え長期休み前などには、子どもに関わる全職員での話し合いを行っている。	8
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	様々なプログラムを提供できるよう、1か月分の計画を事前に立てるようにする。	8
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			8
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			8
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	その日のうちに職員それぞれが振り返りを行える時間を確保する。	8
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			8
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			8
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8			8
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			8
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			8
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	利用者のその日の状況等を学校の先生に伺い、情報共有している。	8
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			8
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	就学前の児童の様子について、聞くことができるような連絡体制を整える。	8
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			8
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	外部での研修により積極的に職員が出ていく体制を整える。	8
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	7	1	同敷地内の児童クラブと親密な交流があり、適宜遊びに行くことが出来ている。	8
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	積極的に協議会等の情報を集め、参加できる機会を模索する。	8
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			8
家族との連携	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンストレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	年に2回の面談と相談会を実施し保護者からの相談に乗ったり、情報提供を行っている。	8

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8				8
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8				8
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8				8
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8				8
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8				8
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8				8
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1	一斉メールを利用した、行事等に関する連絡は適宜行っている。	保護者への保育に関する情報提供の機会を増やす。	8
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1	個人情報は施錠管理やアクセス制限を行い、職員への周知や研修を通して、適切な取り扱いを徹底している。		8
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8				8
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	法人全体の活動として、地域住民も招いたバザーを行っている。		8
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		マニュアルや訓練内容について、多くの職員が日常的に確認・活用できるような周知方法の工夫が必要。	8
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8				8
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8				8
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8				8
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8				8
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8				8
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8				8
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8				8
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8				8